

# 論文紹介のやり方

2023/02/16

慶應義塾大学理工学部物理情報工学科  
渡辺

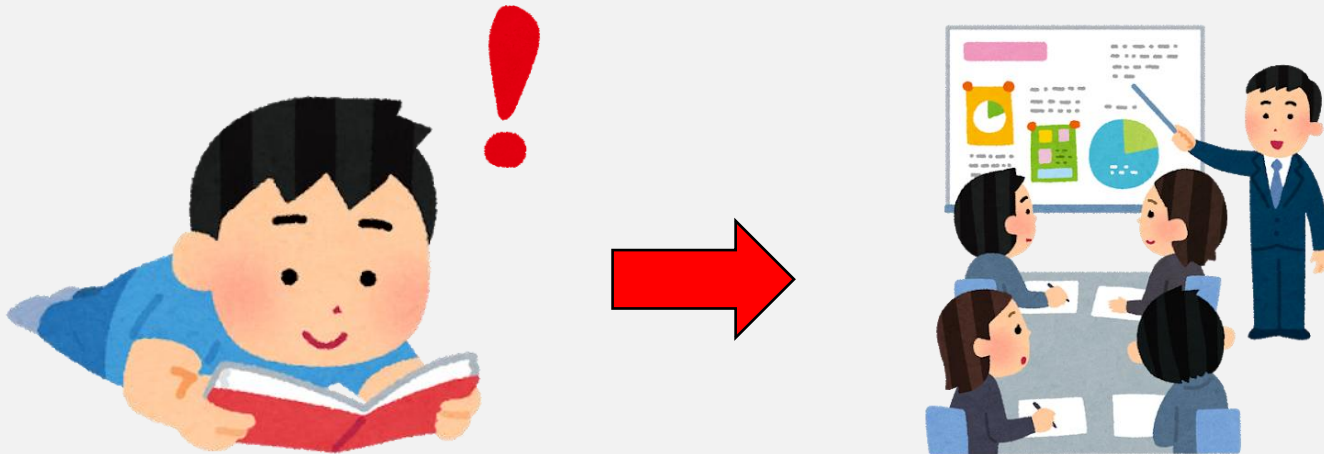
# 注意

このスライドに書かれている内容は  
当研究室のローカルルールです  
別の研究室には別のポリシーがあります



# 論文紹介とは

- 最近読んだ論文で、面白いと思ったものを研究室の他のメンバーに紹介すること
- 論文そのものが最近のものである必要はない
- 紹介する論文は原則として一編
  - 強く関連する論文なら併せて紹介しても良い



# 論文紹介の準備

論文紹介とは「論文をちゃんと読んできた証明」  
をする場ではない

「何を話すか」より「何を話さないか」が大事



聴衆は論文を全く読んでないと想定して準備する  
話すポイントを一つか二つに絞って話すこと

# 質問に答えられなくても気にしない



- ただし、どんな質問が来たかは覚えておく
- 次からは「どんな質問が来るか」を想定しながら論文を読む

# スライドの構成

10枚あれば十分。20枚は超えないこと。

## 構成例

1. タイトル
2. 研究全体の背景
3. 問題意識
4. 論文の目的
5. 手法の説明 (2～3枚程度)
6. 結果 (2枚程度)
7. まとめと考察

# タイトル

論文タイトル、リファレンス、著者名を**必ず書く**

引用の無い記述は「自分の研究・意見・結果」とみなされる

Review: “Ostwald ripening in multiple-bubble nuclei”

H. Watanabe, M. Suzuki, H. Inaoka, and N. Ito  
J. Chem. Phys. **141**, 234703 (2014)  
arXiv:1407.0102

タイトルに「Review:」等とつけておくと自分の研究と  
間違われなくて良いかも

# 論文リファレンスについて

出版された査読論文は以下の情報で指定できる ※会議録などを除く

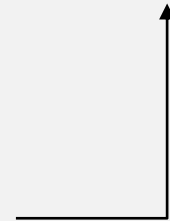
ジャーナル名 : Journal of Chemical Physicsの略  
(省略の仕方は決まっているので調べること)

ボリューム : 太字にするか、Vol. 141などと表記する

最初のページ番号 : p. 234703と表記することも  
論文番号になっている場合もある

J. Chem. Phys. 141, 234703 (2014)

上記三つで一意に決まるが、出版年もつける





# スライドの作り方

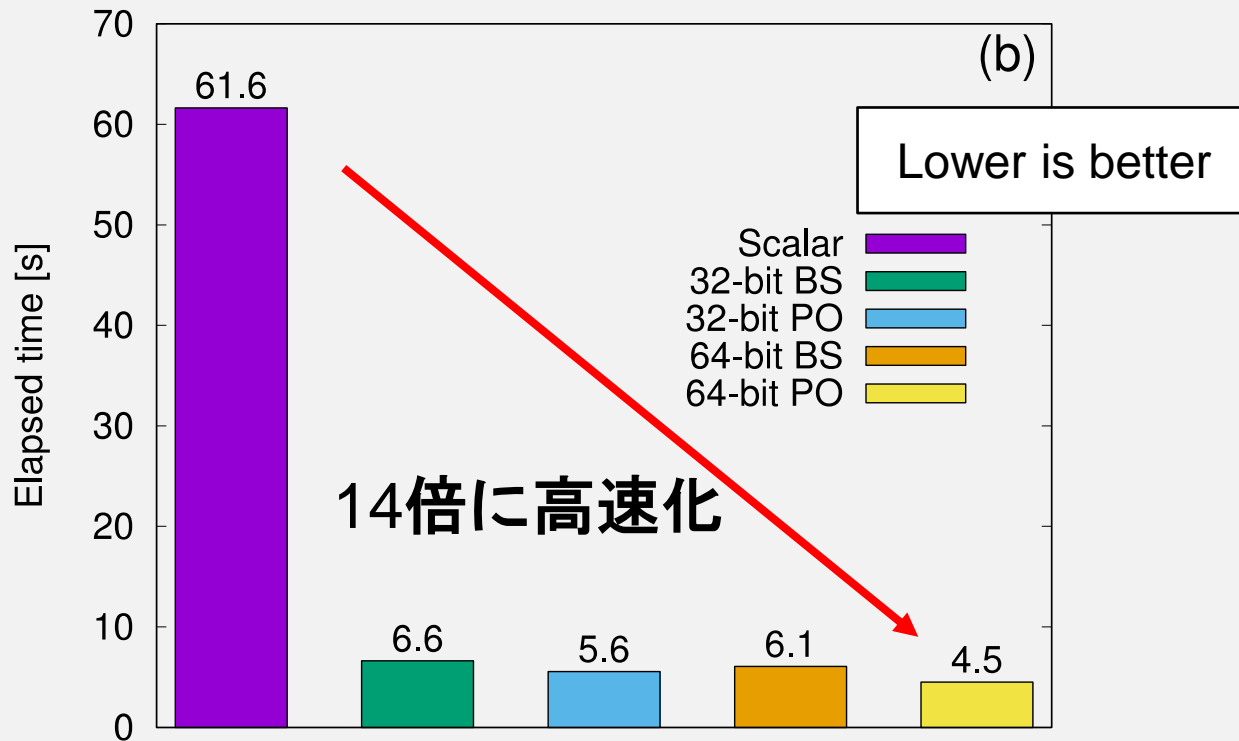
原則として「スライダー一枚にメッセージ一つ」



スライドに情報(特に文章)を詰め込みすぎない

# グラフの入れ方

原則としてスライダー一枚にグラフ一つ



H. Watanabe, et al. J. Phys. Soc. Jpn., 88, 10244 (2019)

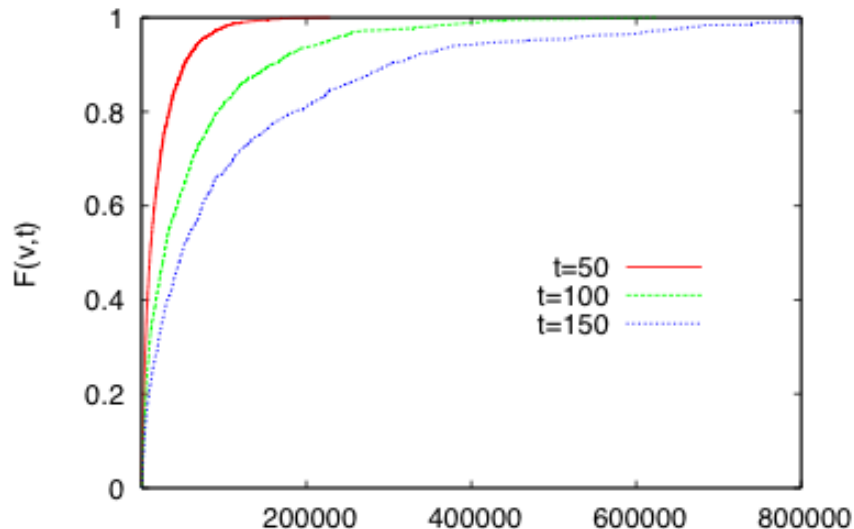
グラフを見てわかって欲しいことを(口頭で説明するだけではなく)グラフにも書いておくの良い

# グラフの入れ方

比較させたい時には二つ入れても良い

以下の例では、生データはバラバラだが、スケールすると一本の線に乗ることを示したい

累積分布関数(生データ)

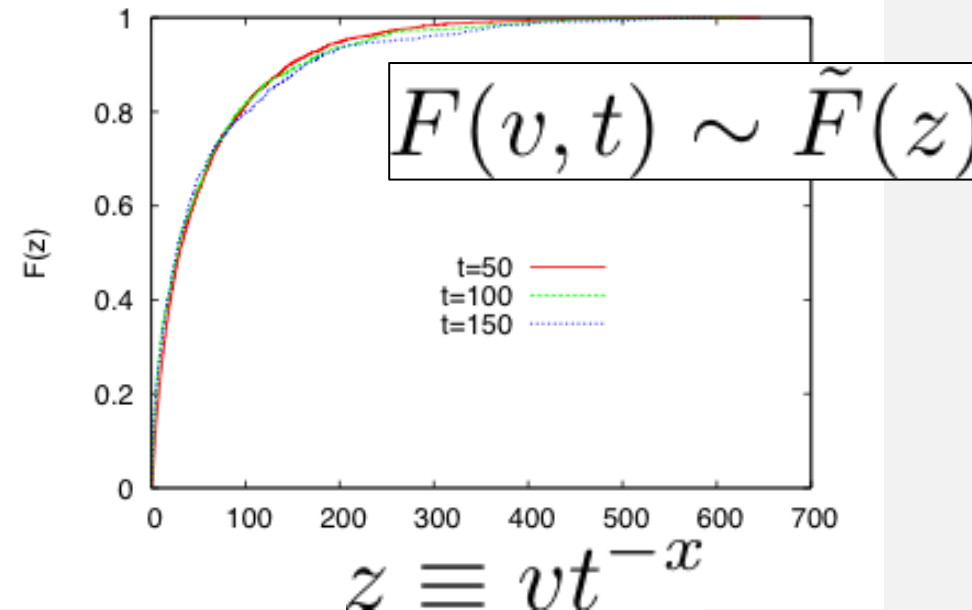


気泡体積

これが



累積分布関数(スケール)



こうなる

# 発表はゆっくりと

スライド一枚を一分が目安



原稿を用意しても良いが、本番では読み上げない  
時間を計って練習すると良い

# まとめ

自分が感じた「面白さ」が伝わるようにする  
情報を詰め込みすぎない

→「何を話さないか」が大事

Tell the truth, nothing but the  
truth, but not the whole truth.



質問やツッコミを過度に恐れない  
時間を計ってゆっくり話す練習をすること